

視点(2403)

仮想ECモールのご概念設計!!

(SC理論編)

現在、リアル販売が中心の中でネット通販が旺盛です。Eコマース(電子商取引)は現在、日本が7%から10%へ、アメリカが10%から15%へ、中国は30%から50%へと進んでいます。まだまだリアル販売が基軸ですが、近未来(2030~2035年)にはオンラインショッピング(ネット通販)が30%になると予測されます。また、未来(2045~2050年)にはオンラインショッピングが50%の時代が想定されます。

シンギュラリティ(技術的特異点)という言葉があります。シンギュラリティは、人間の能力をコンピューターが超える時点と言われ、2040年頃と推定されています。

流通業界でも、リアル販売のノウハウをオンライン販売のノウハウを上回る時点である「流通上のシンギュラリティ」(流通上の技術的特異点)が2045年(第3次流通大変革2020~2045年までの25年間)までに到来し、アナログ的リアル店舗(次世代の要素が希薄な従来型の実店舗)はニッチ&マイノリティ化の存在になります。

現在のECモール(ネット上のSC)は、まだ単にリアルSCのネット版に過ぎません。この現在のECモールのシンギュラリティ版への挑戦が次世代型ECモールの「**仮想ECモール**」です。

仮想ECモールの概念設計は次の通りです。



(株)ダイナミックマーケティング社⁺⁸

代表 六 車 秀 之